

令和 3 年度（2021 年度）事業報告
(令和 2 年 9 月 1 日～令和 3 年 8 月 31 日)

令和 3 年度事業は、当初の事業計画ならびに予算案に基づいて次のように行われた。

法人事業の報告

1. 会員数の報告

2021 年 8 月 31 日現在の会員数は次のとおりである。

会員数: () は 2020 年 8 月 31 日現在の数

会員種別	医・歯		理		農・工		薬		他		計	
名誉会員－国内	30	(31)	14	(14)	6	(6)	13	(13)	1	(1)	64	(65)
名誉会員－国外									53	(54)	53	(54)
永年会員	6	(6)	2	(2)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	8	(8)
評議員	289	(295)	160	(159)	116	(120)	132	(136)	4	(4)	701	(714)
正会員	1,791	(1,807)	1,540	(1,561)	1,007	(1,063)	1,179	(1,189)	156	(157)	5,673	(5,777)
学生会員	143	(119)	235	(228)	223	(184)	159	(176)	1	(1)	761	(708)
小計	2,259	(2,258)	1,951	(1,964)	1,352	(1,373)	1,483	(1,514)	215	(217)	7,260	(7,326)
異動数	1		-13		-21		-31		-2		(前年比)	-66)
賛助会員									59口	(62)	46社	(50)
団体会員											133団体	(138)
総計											7,439	(7,514)
											(前年比)	-75)

2021 年 8 月 31 日現在 支部別会員数

第 58 回総会 日時：令和 2 年 11 月 20 日

() は 2020 年 8 月 31 日現在の数

支部名	会員数(名)	%
北海道	203 (198)	2.7%
東北	511 (524)	6.9%
関東	2,880 (2,949)	38.7%
北陸	211 (191)	2.8%
中部	631 (629)	8.5%
近畿	1,462 (1,457)	19.7%
中国・四国	618 (641)	8.3%
九州	612 (605)	8.2%
国外他	311 (320)	4.2%
計	7,439 (7,514)	100.0%

開催場所はいずれも下記で行った。

会場：オンライン

3. 各支部会議開催の報告

北海道支部	1回
東北支部	1回
関東支部	1回
中部支部	1回
北陸支部	1回
近畿支部	1回
中国四国支部	1回
九州支部	1回

2. 会議開催の報告

学会運営のために行われた主な会議の開催状況は以下のとおりである。

理事会	10月, 4月	2回
常務理事会	1月, 2月, 8月	3回

4. 委員会活動等の報告

・情報専門委員会

ホームページでは、求人情報・学術集会カレンダー・分科会/大会等からのお知らせなど会員向けの有益な情報について新しい記事を常に掲載した。

また「日本生化学会チャンネル」のバナーでは、大会で行われた4題の講演動画を追加公開した。

・研究倫理委員会

日本医学会連合研究倫理委員会との連携を図り、意見書等を提出した。

- ・日本学術会議，日本学術振興会，日本医師会，日本医学会連合調査，各機関からの周知など連携および協力をした。

公益目的事業の報告

5. 出版 <公1>

(1) 生化学誌出版

会誌発行状況は以下のとおりである。

※偶数月の隔月発行（6回/年）

上段()内は第91巻 下段()内は前期発行

	総頁	記事数	総説	MR	TN	その他
第92巻 第1～6号	875 (846)	143 (137)	52 (47)	47 (50)	2 (5)	42 (35)
第92巻5号(10月) ～第93巻4号(8月)	847 (868)	139 (141)	51 (51)	50 (45)	3 (4)	35 (41)

支部企画による特集号は好評を博している。

編集企画協力委員には非会員の参画も要請し、幅広い企画の立案に努めている。

電子版の読みやすさは好評で、新刊では毎号フリーアクセスの記事を網羅し、6か月経過後はすべての記事をだれでも読めるようにしている。

(2) The Journal of Biochemistry (JB) 出版

欧文誌の発行状況は以下のとおりである。

上段()内はVol. 165, 166 下段()内は前期発行

	Pages	No. Paper	Reg. P	Comm- mun.	Rev/ Minirev.	Ref. & Others
Vol. 167, 168 2020	1,302 (1062)	137 (118)	101 (86)	5 (2)	22 (21)	9 (9)
Vol. 168-3～170-2 (Sep. 2020～ Aug. 2021)	1,550 (1169)	159 (123)	117 (89)	4 (6)	26 (23)	12 (5)

2020年のImpact Factor (2021年発表)は3.387であった。

海外を含む一般にも広く投稿を呼びかけ、優秀な論文に与えられる「JB論文賞」を設け、大会開催時にはその授賞式およびシンポジウムを開催しJBへ投稿、

周知をはかった。

(3) 各月の発行状況は以下のとおりである。

	生化学	JB
個人会員	352	26
団体会員	138	48
賛助会員	55	52
書店等販売	98	186
贈呈	89	157
その他	269	131
計	1000	600

6. 学術集会 <公2>

(1) 第93回生化学会大会開催の報告

日時：令和2年9月14日～16日

場所：オンライン

会頭：深見 希代子

特別講演 2, シンポジウム 79,

バイオインダストリーセミナー0,

一般演題 335, Late-breaking Abstracts 18

参加登録者数：2,205名（内 学生 693名）

(2) 男女共同参画推進委員会活動報告

第93回大会時にワークショップ「性差を超えて：女性研究者のライフサイクルを踏まえたエンパワメント」を企画、開催した。

また、男女共同参画学協会連絡会ではオブザーバー学協会として定期的に運営委員会に出席している。

(3) 各支部の例会・シンポジウム開催の報告

各支部における学術活動は活発であり、下記の通り例会を開催した。

北海道支部「第58回支部例会」

(7月 対面・オンライン)

東北支部「第87回例会・シンポジウム」

(5月 オンライン)

関東支部「2021年度例会」

(6月 オンライン)

北陸支部「第39回大会」

(6月 オンライン)

中部支部「第85回例会・シンポジウム」

(5月 オンライン)

近畿支部「第67回例会」

(5月 オンライン)

中国四国支部「第62回例会」

(5月→2021年9月へ延期 オンライン)

九州支部「令和3年度例会」 (6月 オンライン)

(4) 国際会議等への補助金拠出、共催開催の報告

- ・第19回バイオフィロンティアシンポジウムとして以下の国際会議を予定した。

①「第10回オートファジーに関する国際会議 (ISA)」

日程：2021年5月9日～13日 (2022年10月23日～27日に延期)

開催都市：札幌市

②「EMBO ワークショップ：細菌由来膜小胞 ～合成、機能、そして医学応用～」

日程：2021年11月23日～26日

開催都市：つくば市

・FAOBMB 関連

FAOBMB のプレジデントとして、本会代表理事が就任している。

・IUBMB 関連

Travel Fellowship などでの活動支援をした。

岩崎 信太郎, 上川 泰直

生化学若い研究者の会への支援をおこなった。

- ・「第61回生命科学夏の学校」

その他財団等へ学会推薦を行った。

(2) 助成

「早石修記念海外留学助成」の募集を行い、留学助成審査委員会による選考を行った。採択者は以下のとおりである。

第5回 2021年度採択者

嶋中 雄太, 本多 隆利, 黒田 美都, 上地 浩之, 小林 航, 小坂田 拓哉, 有村 泰宏, 武藤 義治

2022年度「早石修記念海外留学助成」の募集を行った。

以下余白

7. 表彰・助成 <公3>

(1) 表彰・奨励

2021年度奨励賞, JB論文賞, 柿内三郎記念奨励研究賞および柿内三郎記念賞の募集をおこない、各種授賞等選考委員会による選考を行った。また、2021年度よりJB編集委員会により日本生化学会JB審査員賞が設けられ、選考を行った。

受賞者は以下のとおりである。

・日本生化学会奨励賞

立和名 博昭, 森下 英晃, 佐藤 裕介, 長島 駿
仁平 直江

・JB論文賞 (第29回)

永田 宏次 他10名, 藤山 拓己 他5名,
西村 正宏 他3名, 蔡 哲夫 他3名,
菱木 麻美 他2名

・JB審査員賞 (第1回)

華山 力成, Caaveiro Jose, 鈴木 美穂,
真壁 幸樹, 表 弘志

・柿内三郎記念賞 (第16回)

酒井 寿郎

・柿内三郎記念奨励研究賞 (第18回)